

# 生涯学習から広がる学校支援と地域活動



市では、平成5年に生涯学習基本計画を策定し、その推進を図ってきました。複雑で多様化した時代を主体的に生きていくためには、生涯にわたる学習の充実と、学んだ成果を地域で活かす活動につなげていくことが重要になってきています。

今月は、学びの成果を地域活動につなげている学校支援活動や、おとなの学び応援塾などの事業をご紹介します。

## 市の目指す「生涯学習によるまちづくり」

生涯学習には、「ワクワク・生き生きとすること」「自分に力を与えてくれること」「その学習や活動をとおして世界が広がること」など、100人いれば100とおりの生涯学習があります。市では、さまざまな生涯学習を通じて、「このまちに生きている」という実感を持つていただきたいと考えています。

今、公民館、学校、図書館、地区の公園や運動場など、市内のいろいろな場所で、たくさんの方が活動しています。それらは、いわゆる「学習」にとどまらず、趣味やボランティア、法人としての活動など多岐にわたり、活動している方たちも、個人や組織・団体などさまざま

まで、目的も手段も内容も、実に多種多様です。現在、市ではこのような生涯学習活動を積極的に支援しています。

## 密接に関わる、学校支援と地域での市民活動

### ■学校支援ボランティア

これまで市では、小・中学校で、教科学習の補助などの「学習支援」、花壇の手入れや草取りなどの「環境支援」、登下校時の見守りなどの「安全・安心への支援」など、多くの分野で保護者や地域の皆さんに支援をいただけてきました。

平成19年4月には、この支援活動を体系的かつ組織的に行い、継続していくための「狭山市学校支援ボランティアセンター」(SSV

C)が狭山台中学校内に開設され、その運営は、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ同窓会に委託し、すべてボランティアスタッフによって行われています。

現在では、300名を超える皆さんが、学校支援ボランティアとして登録され、教科学習の補助や総合的な学習のゲストティーチャーなどの「学習支援」を中心に活動を実施しています。

### ■狭山市学校応援団推進事業

平成20年度から、この学校支援をさらに全市的、総合的、かつ地域や学校の実態に見合ったものとして発展させるため、国と県の事業展開を踏まえ、「狭山市学校応援団推進事業」を始めました。

この事業は、PTA、学校支援ボランティアセンター、自治会、おや

## 学習支援・講座企画力アップ おとなの学び応援塾

市民活動に必要なコーディネート力、企画力、グループ学習能力の向上を目指し、グループで話し合い、考え、実践する「ワークショップ形式」で、おとなの学びを共同で支援する力を身につけます。



< 次回の日程 >

日時7月3日～17日の金曜日、10時～15時（17日は15時30分まで）場所中央公民館 対象市民講師、学習支援者、講座企画などに関心のある方 定員30名 申込み6月17日～26日 に応募用紙（社会教育課、公民館、富士見集会所、図書館に用意。ホームページからもダウンロード可）に記入し社会教育課へ

## 市民による市民のための さやまの市民講座



みんなで体験 歌ってリズム



親子でつくるマイカレー



戦艦大和と広島原爆の体験を語る

じの会、各種団体などで構成される学校応援団として、大勢の地域の皆さんの協力で進めていくものです。

地域の核となる学校で、子ども達への支援をすることで、子どもと大人との交流ができるだけでなく、地域住民同士のつながりも生まれ、その活動が支援者の生涯学習ともなることが期待されています。

### 個人の学習・活動から、 人とつながる市民活動へ

#### 生涯学習ボランティア

生涯学習ボランティア制度とは、豊かな知識、優れた技能などをもち、社会参加に意欲のある方に登録していただき、市民の皆さんの要請に応じて直接指導に当たっていただく人材バンク制度です。現在、200を超えるジャンルで150人以上が登録されていて、家庭教育学級や高齢者福祉施設学校、サークルでの指導など、さまざまな場面で活動しています。

また、ボランティアは、個々に講師としてのスキルアップに努めることはもちろん、より地域活動に根ざした生涯学習支援ができることを目指し、市が主催する事業にも積極的に参加しています。

#### おとなの学び応援塾と さやまの市民講座

「おとなの学び応援塾」は、市が「さやま生涯学習をすすめる市民の会」との協働で、地域の生涯学習支援について受講者同士で学び合うものです。「さやま生涯学習をすすめる市民の会」は、「学び」をキーワードに、市内で活動する個人や団体のネットワーク化と支援を一層進め、市民が元気でいきいきと心豊かに活動できるまちの実現を目指して活動している団体です。

また、「ここで学んだことや、知り合った人脈を生かし、応援塾終了後には、受講生有志のグループによる実践の場として、さやまの市民講座を自主開催する機会を設けています。そして、これらの講座を、より市民のニーズに合うものにしていきたいと思っています。

これから生涯学習ボランティアの活動をしたい方や、登録しているが一人ではなかなか講座を開くところまで発展しない方、市でどんな市民活動があるのか興味をお持ちの方など、ぜひご参加ください。皆さんも生涯学習都市を目指し、一緒に活動してみませんか。

問合せ社会教育課へ内線5673

## Interview



学校支援ボランティアセンター事務局長  
諸井寿夫さん

市内には、ご自分の経験などを生かして社会貢献しようと考えている人が大勢います。学校支援ボランティアセンターは、学校とボランティアを的確につなぎ、市民協働のシステムとして、学校教育の大きな力になりたいと考えています。



おとなの学び応援塾  
参加者  
佐藤静子さん

講座の内容は大変興味深く、広い範囲にわたっていると思います。グループでの話し合いは、みんなの意見がいろいろ聞けるので、とても勉強になりました。狭山市民のために活動している人々が、こんなにたくさんいることが分かり、感心しました。